

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 4月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100591号
法人名	医療法人 愛人会
事業所名	グループホーム桜並木
所在地	鹿児島市紫原4丁目30番22号 (電話) 099-802-4312
自己評価作成日	平成26年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【慈愛の精神】すべての人を愛する人間愛のもとに、すべての人の意思を受容し、すべての人の人格及び尊厳をお守り致します。

【自立の支援】その人の出来ない事だけを支援し、自立性を高めて頂きます。

【社会的役割】私たち職員は、常に入居者と同じ目線に立ち、地域の社会資源となるよう努力します。入居者、家族、地域、ボランティアの方々が入りやすい雰囲気であり、共同生活空間が家庭的で落ち着いた物になるように配慮しています。隣接する公園やドラッグストア等へ、散歩や買い物などを楽しむ機会を多く持てるよう支援しています。

協力医療機関とも24時間体制での連携が取れるようになっており、医療的な相談や指示を仰いだり、緊急時の対応も迅速に出来るようになってきている。主治医による往診が月2回、看護師長による健康チェックが週3回行なわれており、健康管理にも力を入れている。また、訪問歯科診療や訪問マッサージ等も必要に応じて受けられる体制が出来ている。

事故防止・リスクマネジメントにも力を入れており、事故報告書、ヒヤリハットの提出を徹底し、統計を取り起りやすい事故を分析、再発の予防に努めている。

行事や園外活動、レクリエーションにも力を入れており、入居者様への楽しみの提供と共に脳活性化による認知症悪化予防を目標にしている。ご家族へも行事への参加を呼び掛け、職員共々、行事やレクリエーションを楽しめるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは鹿児島市の高台の住宅街に位置し、リビングからは遠くに桜島を望め、周囲には公園や商店街・学校等があり散歩や買い物に便利な環境にある。母体の医療機関とは24時間緊密に連携が図られ、利用者の健康管理と安全管理には十分に配慮がなされて利用者や家族の安心につながっている。

○利用者の楽しみにつながるように多くのレクリエーション活動や行事を企画している。ホームでの夏祭りや運動会、また、動物園や水族館・季節の花見などの外出の際にはご家族の参加も多く、ほかにもレストラン等での外食や買い物など、利用者に喜ばれるように職員は様々な工夫を重ねている。

○管理者や職員は、利用者の食事への楽しみをより充実させるために大きな関心を払っている。日常的には利用者と一緒に食事の準備や後片付けなどとともに、会話しながら和やかに食事している。母体法人の栄養士からは、利用者の健康状態に応じたメニューや調理方法の指導があり、これに沿った食事の提供に努めている。ホームでは誕生日のケーキ作り、ひな祭り時のバイキング、敬老会やクリスマス会等の仕出しの活用、弁当持参の季節の花見、ソーメン流しやレストランでの食事など、食事が楽しみになるような多くの工夫も行っている。

○各種の記録類は、その様式に工夫が見られるとともに、職員が情報を共有しやすいようにわかりやすく詳しい記述になっている。職員のレベルアップのために多くの研修も計画的に実施されており、それに利用する資料も職員が理解しやすいように作成整備されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各職員が理念に基づいたケアが出来るように事業所内の見やすい位置に掲示している。	地域密着型サービスの意義や役割を理解して作り上げたホーム独自の理念と基本方針を掲げて、理念に沿って日々愛情を持って利用者に接するように取り組んでいる。理念は玄関やホールに掲示し、朝礼や職員会議で意義を確認して理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	紫原中央保育園との交流があり、敬老会の慰問に来て頂いたり、保育園の運動会に招待してもらっている。	町内会に加入し地域の十五夜や夏祭り等への参加をはじめ、地域の保育園とも相互に行事で訪問して積極的に交流している。また、回覧板を利用してホームの敬老会やクリスマス会・勉強会・防災訓練などの案内を行い、地域の方々に参加を呼びかけている。日頃より散歩や買い物の際には、地域の方々と挨拶や会話を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	行事や防災訓練への参加、協力を呼び掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	職員会議の際、意見を出してもらい、具体的な反映を試みている。また、その進行状況や結果を、次の運営推進会議の際ご家族に報告し、サービス向上に繋げている。	会議は利用者や家族・地域の公民館長・民生委員・包括支援センターの職員等の参加を得て定期的開催されている。利用者及びホームの現況報告や行事・問題点等について意見交換が行われ、内容は職員会議でも話し合い、具体的に業務改善や日々のサービス向上に役立っている。また、外部評価の結果についても報告がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加をお願いし現状報告を行ない意見やアドバイスを頂いている。	介護相談員の受入れを行い、市の担当者には入居状況や連絡事項などを定期的にメール連絡している。不定期ではあるが、公共機関から依頼を受けて職場体験学習や見学も受け入れている。また、電話や訪問で運営や利用者の状況について確認や相談を行い、適切に助言や対応して頂くなどの連携を図り、サービス向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置、身体拘束ゼロにむけてのマニュアルを基に、勉強会などで理解を深めており、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	日中は居室や玄関の施錠は行わず、玄関のセンサーや職員の見守りのもとで、利用者の自由な暮らしを支援している。利用者が外出しそうな場合は、散歩に付き添うなど気持ちに配慮した対応を心がけている。また、「身体拘束はしない宣言」の掲示とともにマニュアルも整備し、身体拘束廃止委員会や職員会議・朝礼等で勉強会や話し合いを行い職員の理解を深めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内での虐待の実績はない。今後も研修会などには積極的に参加し虐待防止に努めたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がいらっしゃるため、職員の勉強会開催しているが、認識は不十分と思われる。今後、継続した勉強会により知識を深めていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に契約書、重要事項の説明を行なっている。内容の変更があった場合その都度説明を行なっており、質問等には随時対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族宛の手紙を書いており、入居者様の様子や連絡事項をお知らせしている。また、家族会を開催し意見交換を実施し、職員会議等で結果を話し合うようにしている。	利用者の思いは日々の暮らしの中で、ご家族とは来訪時や電話・運営推進会議・担当者会議等で話しやすい雰囲気づくりに努めて多くの意見を頂いている。家族会も兼ねた花見・敬老会の対話からも把握に努め、必要な対応は日々の申し送りや職員会議で話し合い、ケアに具体的に反映できるように努めている。ご家族には電話や毎月のお便りで必要な連絡や報告を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の場で改善点の提起をしてもらい、できることからひとつずつ反映させている。また個別指導も行っている。	管理者は申し送りや毎月の職員会議、また個別面談で職員の意見や提案を聞き取るとともに、日頃からコミュニケーションをとりやすい環境づくりに取り組んで積極的に話しかけている。また、各種の研修も計画的に実施して職員のレベルアップを図り、業務及びサービス内容の見直しや改善につなげている。また、申し送りノートの活用で情報の共有を徹底させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自がかかえる問題を解決につなげ、やりがいを感じながら仕事ができるよう資格取得や研修参加への支援を行い、環境を整えている。また資格手当などの給与水準へ反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員のレベルに応じた法人内外研修や指導を行い、ケアの質の向上を目指し、より良い介護の実践者となるよう継続したトレーニングを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所との勉強会や行事等への参加により、交流の機会を持っている。意見交換や情報提供を行ない、質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談等の際、本人の生活歴や習慣、要望、不安なことなど情報収集している。また、実際、施設見学していただき、できるだけ雰囲気を味わっていただきけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談等の際、ご家族からの要望等を傾聴し、細かい内容の把握に心掛けている。 逆に、当ホームの特性等も伝え相互理解を早い段階で築けるよう行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の思いや現状の確認を行い、主治医や家族にも意見を聞きながら、改善に向け支援の提案を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活をともにするもの同士という事を念頭におき、食事の準備や後片付けなどを会話しながら一緒に楽しく行いQOL維持向上に配慮し支えあう関係作りを築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とは日々の生活状態を細かく伝え、情報の共有を図るよう心掛けている。ご本人の必要としている品物を持参していただくなど、機会を見てはホームへ足を運んでもらうようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>行きつけの美容室やスーパー等、地域のお気に入りの場所に行く機会を作っている。</p>	<p>利用者のご家族や友人・知人の来訪時にはゆったりと過ごせるように支援することを始め、電話や手紙の支援も行っている。また、利用開始時の聞き取りや本人との日常会話、ご家族からの情報などから、本人が希望する商店や美容室・近隣のドライブ、一時的な帰宅・墓参りなどを、ご家族とも調整しながら可能な限り支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食事やお茶の際は、職員も一緒になり多くの会話の時間を持つようにしている。また、レクリエーション等で利用者同士の関係が円滑になるよう働きかけている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院等により退所された方のお見舞いや訪問し、お話を傾聴し、現状把握に努めるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを傾聴し、希望に添えるよう努めている。また、家族との情報交換にも努めている。	利用者個々の担当職員を中心に日常の言葉や所作から思いや意向の把握に努め、ご家族とも丁寧に情報交換しながら、本人のペースで自由な暮らしができるように支援している。必要に応じてケアマネやかかりつけの病院からの情報も活用し、職員は内容を共有して本人の立場になって対応を考えて適切な支援となるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、ケアマネ、かかりつけ病院等から情報収集を行っており、必要に応じて問い合わせを行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの心身状態は、健康チェックにより身体・精神状態を把握し、変化がないか観察し、経過記録に細かく記入している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的および随時（必要時）のモニタリングやケアカンファレンスにより、状況に応じて見直しを行い支援計画を作成している。	介護計画は利用者や家族からの意向や希望を聞き取り、主治医や看護師・職員などの関係者からの意見も取り入れながらわかりやすいものを作成している。必要に応じて趣味や外出希望などもプランに加え、支援の状況は細かく記述した施設介護経過記録や業務日誌を基にモニタリングやカンファレンスを実施して、常に現状に適応した計画となるように見直しや修正が適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の経過記録に記載し、日常での変化等についての情報の共有を図っている。また、その情報を実践で活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の希望を良く聞き、満足してもらえる支援を提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人や家族の希望により、訪問歯科診療や訪問カット、訪問マッサージが受けられる体制を作っている。また、町内会長や民生委員との話し合いをする機会を持っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	大半の入居者は協力医療機関の受診、往診を受けているが、本人や家族の希望により、かかりつけの病院を受診してもらっている。	一人ひとりの利用前の受診経過は十分に把握され、本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関とは24時間体制で連携が図られ、看護師長の週3回の来訪と合わせて、医師の定期的な往診により健康管理がなされている。受診状況や必要な対応は職員等関係者で共有され、家族とも適切に連絡が取られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関と24時間連絡が取り合える体制が出来ている。また、協力医療機関から週3回、看護師長が訪問し健康状態の管理を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、頻会に面会に行き安心して治療できるように、また退院後も継続的に医療機関との連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、ご家族と重度化した場合の対応について説明及び話し合いを行い、同意書を交わしている。また、入居後は本人・家族、主治医等とも話し合い、状況に応じて終末期の対応を確認しながら取り組み支援する。	重度化や終末期のケアについては、詳細にわたり整理された「看取りに関する指針」により対応方針を説明して同意を得ている。変化する利用者の身体状況やご家族等の思いの変化などに応じて、医師の意見も含めて関係者全員が方針の共有に努めて、必要な対応について話し合い、適切に支援を行っている。また、年に1回は職員に対して看取りに関する教育も実施して理解を深めるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署から救急蘇生法やAED使用の指導を受けており、職員の教育および協力病院との連携を図り、独自での訓練も実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防訓練を実施。消防署の方にも立ち会いを依頼し、評価やアドバイスを貰っている。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署の協力を得て夜間を含めた避難訓練を実施している。訓練の際には消防署より、救急蘇生法やAED使用の指導も受けている。スプリンクラーや自動通報装置等の設備の充実とともに、地域の住民にも回覧板で訓練への参加を呼びかけている。ただ、食料や飲料水等の非常時に備えた保管はなされていない。</p>	<p>母体の医療法人との連携やホームの位置する周囲の環境から、非常時の支援は十分得られると判断できるものの、食料や飲料水等の最小限のホームでの備蓄は必要と思われるので早急に対応されることが望まれます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を尊重し、声かけを行っている。また、声かけ等の勉強会の実施や接遇の研修等を行いながら、プライバシーの確保を図っている。	接遇や声かけ等の勉強会の充実を図り、排泄時や入浴時等の利用者の誇りやプライバシー確保への声かけや対応に、職員は連携して取り組んでいる。また、接遇委員会の設置、職員会議での話し合いを通じて利用者の人格や感性を大切にしたい利用者に合わせて対応となるように努力している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活において一人ひとりの言動や行動に関心をおき、本人の希望・要望を傾聴し、状況に合った声掛け、対応し、自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望・要望を確認しながら、本人のペースで快適な日常生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者一人ひとりの個性、希望、生活歴等に応じて身だしなみやオシャレを個別に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時は入居者同士がコミュニケーションを取りやすいよう配慮して席を決めている。職員も同じテーブルに着き、話をしながら楽しい雰囲気作りを心掛けている。	利用者と一緒に食事の準備や後片付けなどとともに、会話しながら和やかに食事している。健康状態に応じたメニューや調理方法、誕生日のケーキ作り、ひな祭り時のバイキング、敬老会やクリスマス会等の仕出しの活用、弁当持参の外出、ソーメン流しやレストランでの食事など、食事が楽しみになるような多くの工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝・昼・夕の食事の摂取量や水分出納を把握し、嗜好の飲み物など提供するなどの支援を行っている。法人の管理栄養士との連携により、各種治療食の提供も出来ている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後と就寝前に口腔ケアを行っている。また、定期的に訪問歯科診療に来てもらい、治療やケアの方法を指導してもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで気持ち良く排泄できるよう努力している。極力オムツに頼らない支援を目指し、声かけやトイレ誘導を行っている。	排泄チェック表の活用や誘導や声かけを工夫して、できるだけおむつに頼らない支援に努めている。また、適度の運動や水分補給・腹部マッサージなどの支援も適切に行っている。これらはケアプランにも反映させて、本人の自尊心にも十分配慮しながら個々に合わせた対応となるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄のチェックを行い、適度の運動や水分補給、腹部マッサージなどを行い、排便（性状や量、回数など）確認し、極力下剤に頼らない方法を検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者の体調や希望を聞き、臨機応変に対応している。また、安心して入浴してもらえよう、会話を楽しみながら入ってもらえるよう工夫をしている。	本人の希望や体調に合わせて、安全にも配慮しながら基本的には最低週2回の入浴を支援している。入浴の回数や時間帯にも利用者の希望に柔軟に対応するとともに、ゆったりと会話を交わしながら楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には、時間をかけてゆっくり話をするなど、利用者本位の支援を心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズムを把握し、日中の活動を促しながら、安眠につなげていけるよう働きかけている。就寝時間や起床時間は状況により対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬に注意し、セットした薬を準備・与薬・服薬確認をそれぞれ違う職員が行うようにしている。薬の目的や副作用などについてもマニュアルを作成している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や配膳・下膳等のお手伝いを入居者一人ひとりの能力や希望に合わせて実施することで、楽しみや役割を見出し、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所の公園や、ドラッグストア等への外出を行なっており、定期的な外出の機会を設けている。また、行事として月1回は外出するようにしている。	利用者の健康状態や天候に応じて、日頃から散歩を兼ねて近隣の商店での買い物や公園に出かけるとともに、個別に近隣のドライブや一時帰宅・美容室・墓参り・地域の催し物などへの外出を支援している。また、ホームの行事として月に1回は、季節の花見や地域の行事・外食・ソーメン流しのほか、福祉車両の活用で家族にも参加して頂いて動物園や水族館・コスモス見学など、可能な限り楽しく外出できるように工夫している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	大半の人は少額ずつ現金を預かっており、行事や買い物の時自由に使えるようにしているが、自分で管理が出来る人には、家族の了承のもと自己管理をしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を持っている人は自由に電話をしている。それ以外の人は、本人の希望によりホームの電話を使用し家族と話が出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく開放的な雰囲気作りのため、日中はレースのカーテンを開け外の景色が見られるようにしている。また、カレンダーの作成や、今の季節が解るような飾りを作成している。	リビングは通りに面して明るく広く、2階からは遠く桜島も眺められる。壁には職員と利用者で作成した季節感のある作品や行事の写真が飾られ、落ち着いた雰囲気の中でゆったりと過ごせるように工夫されている。温度や湿度・清潔にも十分配慮がなされ、畳のスペースやソファなども配置されて、居心地良く過ごせる環境となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングでテレビを見て過ごされたり、一人で本を読んで過ごされたり、仲の良い入居者同士で過ごされたり等、自由に居心地の良い場所で過ごしてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたなじみの物を持参していただいている。タンスや鏡等、一人ひとりの生活スタイルに合わせてられるよう、本人・家族と話し合いながら、居心地の良い居室づくりに配慮している。</p>	<p>本人がこれまで暮らしていた自宅の雰囲気近づけるように、使い慣れた馴染みのものを自由に持ち込んで頂き、ご家族とも話し合いながら落ち着いて過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存機能を最大限に活かせる様に個々の状況に応じた環境整備及び福祉用具を選定し、安全に出来るだけ自立した生活への援助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ユニットの見やすい場所に理念を掲示し、日々のケアが理念に沿ったものになるよう意識している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に参加しており、近隣の保育園等の行事にも参加し、地域との交流の機会を持っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	敬老会等の行事や勉強会を実施し地域の人達にも参加を呼び掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を実施し、意見交換やアドバイスを貰ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>入居状況報告を定期的にメールしているが、その際に連絡事項を添付して送信している。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置、勉強会も定期的を実施しており、身体拘束廃止の意識を持ってもらうよう努めている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>尊厳の気持ちを大切に言葉使いに注意している。耳が不自由な方へ大きな声で話すことが他の入居者へ恐怖を与えないよう留意している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護について、他事業所との情報交換をしている。研修等があれば参加する予定がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申し込み時に重要事項説明やパンフレットを用いて説明し、理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、ケアプラン担当者会議、面会時等に意見・要望を聞き、日々の申し送り・スタッフ会議で意見交換を行いサービスに反映できるよう努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や職員会議等で、意見を述べられる機会を作っている。必要に応じて個別面談も行なっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が法人の事業所連携会議に参加し、職場の状況等報告し問題改善できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人には新人研修を行ない、その他の職員も定期的な勉強会に参加し、質の向上を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会への参加の他、他事業所との情報交換を行ない、質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に当ホームを見学され雰囲気を実感、体験していただく。本人の希望や不安ごとを話してもらう。自宅へ伺い生活歴・環境を考慮して信頼関係を築けるように心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安、ホームへの要望を尋ねる。ホームの特性、ご家族への協力依頼などを併せて説明し、相互理解を深めるように努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族からよく話をし、必要としている支援を見極めるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の得意・興味のあること(料理・裁縫・華道・掃除等)を一緒に行う機会を作っている。人生の先輩として生活の知恵を学び支え合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族への手紙を毎月発送しており、行事への参加も呼びかけている。家族が気軽に面会に来られるような雰囲気作りを心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所のスーパーに買い物に行ったり、行きつけの店に行ったり等、車での外出も行なっている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同スペースにて、おやつ・レクリエーション・体操等を行っている。入居者の性格、相性を考慮し、会話・助け合いなど交流を大切にしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院にお見舞いに行き励ましたり、ご家族の不安などを話してもらっている。契約終了後もホームの行事などの案内状を出す等の支援を続けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一日の時間帯の中で、居室でゆっくりできる時間を設けている。本人が話しやすい環境を作り、希望や不安などを尋ねている。本人の立場になって考えている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、他事業所からのサマリー等の情報を把握する。毎日の生活、会話の中から新たに情報を得られるように配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	居室にこもっている時間、日中の臥床時間等の長さや食事摂取量、表情、行動、会話等を観察してその人らしい全体像を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の面会時、運営推進会議の参加時等に希望・意向を聞いている。担当者会議を開催しケアプランに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録にその日の様子を記録し、朝礼や引き継ぎ時に報告し、職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の要望や意向を聞きだすようにし、それに沿った支援が出来るよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公園や企画の店などに行く機会を持ち、少しでも地域との交流が出来るよう配慮している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に協力医療機関での受診、往診を受けて頂いているが、家族や本人の希望があればかかりつけ病院での受診をしてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	生活の中で変化があった時には、24時間、協力医療機関に連絡し指示を受けられるようにしている。 看護師長も週3回入居者の健康チェックに来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時、情報提供書、介護要約サマリーを提供している。入院中も適宜回復状況を把握している。また入院先機関と連携し早期退院に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で家族、医師を交えて話し合いを行ない、今後どうするか、何が出来るのかを話し合うようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会を行ない、緊急時の対応についての知識と技術を深めるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>半年ごとに消防訓練を実施している。消防署員や防災設備の担当者にも参加してもらい、指導してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	失禁汚染時の更衣など入居者の気持ちに立って言葉をかけている。また周囲の方へも配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の状況（性格・認知）に合った声掛けを心がけながら、本人の希望に沿った支援を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室での臥床時間が長いときや共同スペースでの経過中に疲労感が見られる時などには声かけを行って生活リズムや体調が崩れないよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	こだわりのる方は、行きつけの美容室に通ってもらっているが、特にこだわらない人は月1回の訪問カットで整髪してもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事時は、職員も入居者さんと一緒に食事をするようにしている。配膳、下膳の手伝いもしてもらうよう声かけを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人に応じた食事形態で配膳しており、摂取量も日誌に記録している。食事量の少ない人は、看護師長に相談し指示を貰っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	定期的に訪問歯科診療に来てもらっており、治療や診察を受けられる体制が出来ている。口腔ケアも毎食後と就寝前に行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを行いパターンを把握しトイレ誘導を行っている。失敗や汚染で自尊心が傷つかないように気をつけている。できるだけオムツに頼らない支援を心がけている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分摂取量を記録し、日常の活動量なども把握して、下剤に頼らない排泄を検討している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	大まかに曜日を決めているが、体調や気分によって翌日に変更している。好みの入浴剤を使用しゆっくりと会話を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズム（昼夜逆転等）が崩れないよう日中の休息時間を観察している。就寝は本人が休みたい時間までリビングで自由に過ごされている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者の処方箋に目を通して確認している。薬包の各入居者の名前、日付を確認している。薬剤の飲み残し、紛失等がある為飲み込まれるまで声かけ、見守りを行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者の趣味を把握し、楽しんでもらえる機会を作り、他入居者も一緒に楽しめるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は公園へ散歩に行ったり、近くの店に行ってお買い物を楽しんでもらっている。また、月1回程度行事を開催し屋外活動を楽しむ機会を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には職員で管理しているが、外出時等状況に応じて本人に渡すようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族より電話があった場合は取り次いでおり、また、本人より申し出があった場合はこちらから家族へ電話をかけることもある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>常に清潔を心がけて、衛生的で快適な環境作りを目指している。また、創作活動による季節の飾り物等を展示し、季節感を出すようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>基本的に自分の居心地のいい場所で過ごして頂くよう配慮している。リビングで過ごされる人には、出来るだけ職員も話しかけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使いなれた家具や家電製品を持って来て貰い、自分が住んでいた家に少しでも近づくよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その人の残存能力を生かし、自立支援を行なっていく。また、事故防止の話し合いも行ない、安全に過ごせるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない